

学術講演会のご案内

小松市・加賀市・能美市医師会

謹啓

時下、先生方におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
この度、糖尿病領域の治療展開を目的とした、学術講演会を開催させていただきます。
ご多忙の折、誠に恐縮に存じますが、万障繰り合わせの上ご出席賜りますよう
何卒よろしくお願い申し上げます。敬白

日時 2015年 12月 10日(木) 19:00～

会場 ルートイングランティア小松エアポート2階 鏡花の間
住所：石川県小松市長崎町4-116-1 電話：0761-23-7000

総合司会 医療法人社団 東野病院 副院長 東野 朗 先生

製品紹介 持効型溶解インスリン製剤 ランタスXR注ソロスター サノフィ(株)

座長 国民健康保険小松市民病院 内科担当部長 吉本幸子 先生

御講演 『 2型糖尿病における脂肪細胞の
慢性炎症とインスリン抵抗性 』

～肥満は糖尿病・脂質異常症・高血圧症など、
さまざまな代謝疾患発症の増悪因子～

富山大学大学院医学薬学研究部 内科学(1)
教授 戸邊 一之 先生

※この講演会は、石川県医師会生涯教育講演会(2単位)に該当します。

※この講演会は、石川県臨床内科医会(5単位)に該当します。

※この講演会は、石川県薬剤師会認定薬剤師研修制度(1単位)に該当します。

※この講演会は、石川県病院薬剤師会生涯教育研修認定制度(1単位)に該当します。

※この講演会は、カリキュラムコード(74)(75)(76)に該当します。

共催：小松市医師会 加賀市医師会 能美市医師会 小松能美薬剤師会
石川県臨床内科医会 小松市地域医療連携室 石川県病院薬剤師会
サノフィ株式会社

SANOFI DIABETES

Going beyond together

【講演要旨】

「2型糖尿病の病態と治療戦略」

高脂肪食・運動不足のエネルギー過剰の生活習慣により、肥満、特に内臓脂肪の蓄積が増加し、インスリン抵抗性の増悪によりメタボリックシンドローム・2型糖尿病の発症が増加している。糖尿病は動脈硬化性疾患のみならず、認知症、悪性腫瘍の基礎疾患であることも明らかにされてきており、生活の質を低下させるだけでなく、健康寿命の短命化の重要な原因となっている。

私どもは、2型糖尿病の適切な治療を判断する指標としてCペプチドインデックス($CPI: \text{空腹時CPR}(\text{ng/ml}) \div \text{空腹時血糖値}(\text{mg/dl}) \times 100$)が参考になることを示してきた。すなわち、 $CPI < 0.8$ はインスリン治療、 $CPI > 1.2$ は経口薬で良好な血糖コントロールが得られるというものである。最近の解析では、この基準は入院時の血糖値、肥満度によって変化するものであることが明らかになった。本講演では、CPIの日常臨床での使い方に加えて、脂肪組織のマクロファージがインスリン感受性を調節するメカニズムについても報告したい。

【演者ご紹介】

富山大学大学院医学薬学研究部 内科学(1)
教授 戸邊 一之(とべ かずゆき) 先生



【戸邊 一之 先生 ご略歴】

昭和58年	3月	東京大学医学部医学科卒業
昭和58年	6月	東京大学医学部附属病院内科研修医
昭和59年	1月	東京大学医学部附属病院分院内科研修医
昭和59年	6月	三井記念病院内科研修医
昭和60年	6月	東京大学医学部附属病院第三内科入局医員
昭和61年	6月	朝日生命糖尿病研究所附属丸の内病院研究員
昭和63年	6月	東京大学医学部附属病院第三内科医員
平成 5年	3月	東京大学医学部附属病院第三内科助手
平成10年	8月	東京大学医学部附属病院糖尿病・代謝内科助手
平成15年	10月	東京大学大学院医学系研究科代謝・栄養病態学(糖尿病・代謝内科)講師
平成19年	4月	東京大学大学院医学医研究科代謝・栄養病態学(糖尿病・代謝内科)准教授
平成19年	5月	富山大学大学院医学薬学研究部内科学第一講座教授
《学位》		
平成14年	1月22日	東京大学大学院医学系研究科 博士(医学)(第15244号)